

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	フィットモアヒップシステムを用いたTHA術後骨変化の発生要因を評価するための多施設共同後ろ向き観察研究
研究責任者	骨・関節整形外科 部長 伊藤 英也
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	フィットモアヒップシステムを用いた全人工股関節置換術(THA)の術後にレントゲン撮影において骨変化がみられる症例について、患者背景や骨変化の進行度、臨床成績への影響、選択した機器のサイズや設置角度などを分析し、骨変化の発生要因について検討することを目的として実施します。 ※フィットモアヒップシステムは人工関節置換術(THA)の際に、股関節の機能を代替するために大腿骨に使用される人工関節です。
研究方法	<p><研究期間> 承認日～2020年3月31日まで、研究の実施を予定しています。</p> <p><対象となる方> 変形性関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死などの股関節疾患の患者さんで、2014年1月1日～2016年4月30日の間にフィットモアヒップシステムを用いた全人工股関節置換術(THA)を受けた患者さん。</p> <p><研究に利用する情報等> 患者背景(手術時年齢、身長、体重、性別、原疾患、原疾患受傷日、合併症)、臨床スコア、患者報告アウトカム尺度、レントゲン評価、手術情報、退院記録および有害事象について情報を収集します。</p> <p><個人情報保護> 収集する診療情報からは個人が特定できない様に、個人情報を処理します。また、研究の結果は保管庫にて5年間保管します。保管期限を過ぎた後は、切断や溶解などの方法で再現不能な状態で廃棄します。</p> <p>研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：骨・関節整形外科 部長 伊藤 英也 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>